事例No.	1442
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	山梨県都留市

事例区分	一般行政

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・税財政 ・人材確保・育成

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

木材利用の促進に向けた「業務用名札ケース」の開発

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

山梨県　都留市（木材利用の促進に向けた「業務用名札ケース」の開発）

- 都留市では、森林経営管理制度及び森林環境譲与税の導入に伴い、森林組合等の林業関係者と協議を重ねる中で、「森林経営管理制度の適切な運用のための林業の担い手確保・育成」及び「木材利用の促進、森林環境教育及び観光分野での安定的な収入確保ができる体制の確立」を柱として、森林環境譲与税を活用していくこととした。
- 令和２年度においては、以下の取組を実施。
  - 森林経営管理制度の円滑な推進及び森林環境譲与税の効率的な運用に向けて、「都留市森林経営管理制度推進方針」を策定。
  - 木材利用の促進に加えて、地場産業の振興及び障がい者雇用の拡大を目指し、間伐材を活用した「業務用名札ケース」の開発。
- 令和３年度においては、森林所有者への意向調査に向けて、「経営管理意向調査全体計画（素案）」の策定を行う予定。

□　事業内容

○ 間伐材を活用した「業務用名札ケース」の開発

【事　業　費】329千円（全額譲与税）

【実　　績】名札ケースの作成（94個）

【事業内容】

・今後、森林経営管理制度に基づく森林施業が本格的に実施されることに伴い、多くの間伐材が搬出されるようになるため、その活用方法の1つとして「業務用名札ケース」の開発に着手、他業種連携による新たな「しごと」、「製品」、「働きがい」を創る事業。



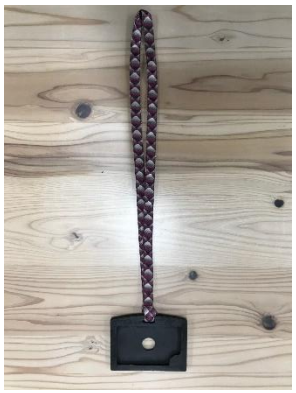
■ケース本体



■塗炭加工

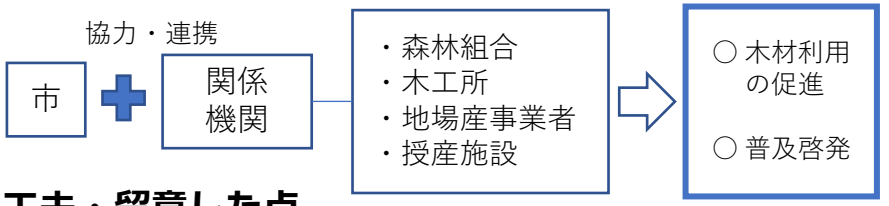


■ストラップ



【完成品】

□　事業スキーム



□　工夫・留意した点

・他製品との差別化を図るため、地域内で伐採された孟宗竹や剪定枝を原料とした「塗炭」を塗布し、伝統的地場産品である「甲斐絹」のネクタイ生地で製作したストラップをあわせることで付加価値を高め、オンリーワンな製品づくりを目指した。

・作業工程の一部を授産施設に委託することで、障がい者の所得向上及び雇用拡大にも寄与する仕組みとした。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	18,496千円
②私有林人工林面積（※１）	3,524ha
③林野率（※２）	84%
④人口（※３）	32,002人
⑤林業就業者数（※３）	46人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より